

## 平成 29 年度キャリア教育推進地域連携会議の報告について

子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進し、子どもたちが将来の生き方や卒業後の進路に見通しを持って学ぶことができるように、学校、事業所、経済団体、行政機関等のネットワークを構築し、互いのキャリア教育や人材育成の取組み等の情報交換を行いました。

会議は三重県を 9 地区に分け、8 月 3 日～10 月 2 日にかけて開催し、事業所、学校（小、中、高）、就労支援機関、市町産業振興・地域振興部局、経済団体、県雇用経済部雇用対策課、市町当教育委員会、県教育委員会事務局高校教育課等が参加しました。

今年度の会議がすべて終了しましたので、まとめを掲載いたします。

今後もキャリア教育の推進については、三重県教育委員会と三重県商工会議所連合会が連携して取り組んでまいりますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

## 平成29年度キャリア教育推進地域連携会議まとめ

○開催時期：平成29年8月～10月（伊勢鳥羽地区は台風のため10月に延期）

○参加人数：218人

<主催>三重県商工会議所連合会、三重県教育委員会

<目的>

各地域における小中高等学校のキャリア教育の取組や事業所・商工会議所等が行っている地域を担う人材育成の取組について情報共有を行う。また、キャリア教育の取組を進める上での課題や改善策について意見交換する。

<内容>


①参加事業所等紹介


②三重県でのキャリア教育の取組（県教育委員会）


③実践報告（各地域1団体）


④研究協議（小グループによる話し合い）

	概要	内容
桑名・員弁	<p>開催日：平成29年8月18日（金）                      場所：県桑名庁舎第2会議室                      参加人数：18人</p> <p>○実践報告                      ・県立桑名北高等学校                      桑名北高等学校のキャリア教育                      ～総合的な学習の時間「みらい」の変遷と再構築～</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶」はコミュニケーションの第一歩である。集団生活を円滑にできる力をつけてほしい。</li> <li>・子どもを育てていくためには、学校・地域・事業所の連携が必要である。</li> <li>・大学へ進学すると地元から出て行ってしまふ。早い段階から地域のことを知ってもらうために、事業所はPRすることが必要である。</li> <li>・家庭の教育力が低下している。保護者への働きかけが必要である。</li> <li>・進学校にこそキャリア教育が必要である。連携会議等に参加してもらってはどうか。</li> </ul>
四日市	<p>開催日：平成29年8月3日（木）                      場所：県四日市庁舎第22会議室                      参加人数：22人</p> <p>○実践報告                      ・県立朝明高等学校                      環境の変化に適應するためのキャリア教育プログラム作り</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣や礼儀等は、小中高等学校と継続して取り組んでいかないといけない。授業や生活習慣等の日常におけるキャリア教育も大切である。</li> <li>・職業人だけでなく、小中高等学校等、縦のつながりも大切であることから高校生をゲストティーチャーに招いた取組を行っている。</li> <li>・OBが活躍している姿等、地元の企業について子どもに知らせる場が必要である。</li> <li>・子どもは周りの大人から褒められると頑張ろうという気になる。地域とのつながりの中で子どもたちが磨かれ、成長して欲しい。</li> </ul>
鈴鹿・亀山	<p>開催日：平成29年8月21日（月）                      場所：県鈴鹿庁舎第41会議室                      参加人数：20人</p> <p>○実践報告                      ・鈴鹿市立平田野中学校                      平田野中学校のキャリア教育の取組                      ～ひらた夢ノートの活用と実践～</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・高等学校間で、就業体験の情報交換を行うと、高等学校でのインターンシップがさらに充実していく。</li> <li>・子どもへのアドバイスを行うにも、まずは教師自身が企業や仕事について知ることが大切である。</li> <li>・小学校段階から、授業をとおして人や地域と触れ合う機会を持たせるようにしていく。</li> <li>・小中高等学校が連携し、それぞれの取組を伝え、効果的なキャリア教育をしていくことが大切である。</li> <li>・キャリア教育を行って子どもたちはどう変わったかを知りたい。</li> </ul>
津	<p>開催日：平成29年8月9日（水）                      場所：県庁講堂棟第132会議室                      参加人数：27人</p> <p>○実践報告                      ・県立久居高等学校                      久居高等学校のキャリア教育の取組                      ～「わくわくコミュニケーション」とリーダーシップ教育～</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を知らないままに仕事を選択してしまう生徒や保護者に対して、セミナーやパンフレット等を通じて知る機会をつくる必要がある。</li> <li>・企業と学校とをつなぐ役割を経済団体が担ってくれれば就業体験が円滑に行うことができる。</li> <li>・「地元になりたい」と思うような魅力を発信していくことが大切である。そのためには、小さな頃から郷土愛を育むことはひとつの方法である。</li> <li>・教員が社会的にスキルアップすることも大切である。</li> </ul>
松阪	<p>開催日：平成29年8月25日（金）                      場所：県立松阪商業高等学校                      参加人数：24人</p> <p>○実践報告                      ・多気町立勢和中学校                      コミュニティ・スクールの取組実践にみるキャリア教育                      ～地域資源を活用した生徒の主体性を育む学習活動の展開～</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の職場見学、中学校の職場体験、高校のインターンシップと段階を踏んで社会を知り、生き方を学ぶ機会が設定されている。これを生かすことが大切である。</li> <li>・小中高等学校、事業所等、それぞれが色々な取組をしているのに互いに知らない。こうした会議で交流することは有意義である。</li> <li>・キャリア教育の効果を測定することが難しい。今ある取組を大切にしながら、子どもたちには社会に出たときに生きる力、考える力をつけていきたい。</li> <li>・学校で様々な取組を3年に1度くらい見直すことが学校にとって大切である。</li> </ul>

伊勢・鳥羽	<p>開催日：平成29年10月2日（月）          場所：県立鳥羽高等学校          参加人数：29人</p> <p>○実践報告          ・鳥羽ビューホテル花真珠          有限会社          ハピネスを求めて          ～人の心を育てる人材          育成～</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業のことを知らない子どもや保護者がいる。仕事をイメージだけで捉えないような働きかけが必要である。              （例：セミナーやビジネスパークの開催）</li> <li>・意欲を持って働くことができる子どもを育てていくために働いている人たちの話を聞いたり、会社訪問等をして働く様子を見たりするのが有効ではないか。</li> <li>・企業には新人を育てる、子どもには仕事を継続していく忍耐力が必要である。</li> <li>・仕事の良いところだけでなく、大変さも伝えたい。仕事に対する理解を深めてもらいたい。</li> </ul>
-------	---	---

志摩・度会	<p>開催日：平成29年8月2日（水）          場所：県立南伊勢高等学校度会校舎          参加人数：25人</p> <p>○実践報告          ・志摩市教育委員会          志摩市におけるキャリア教育の取組</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業体験の効果について、学校と事業所とが共有できると次年度につながる。</li> <li>・普段から学校・事業所・商工会の情報交換の場が必要である。就業体験については、企画の段階から三者で協議できるとよりよいものになる。</li> <li>・仕事では信頼関係が大切である。大人がどんな生き方をしているか子どもはよく見ている。身近な大人が手本を示すことが大切である。</li> <li>・体験だけでなく、普段の授業、各教科の取組を振り返り、子どもにどのような力をつけさせるか、学校全体で検討する必要がある。</li> </ul>
-------	--	--

伊賀	<p>開催日：平成29年8月1日（火）          場所：県伊賀庁舎中会議室          参加人数：24人</p> <p>○実践報告          ・県立名張高等学校          インターンシップ実践報告</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で県外に出ることが多いが、三重県には誇れる企業がある。低年齢の頃から地元の魅力や企業の強みを子どもたちにPRしていくべき。</li> <li>・厳しい仕事ではあるが、夢や魅力のある仕事があることを就業体験に来る子どもたちには伝えたい。</li> <li>・小中高等学校と連携したキャリア教育があることを初めて知った。インターンシップ等で社会を知ることは子どもの将来に大きな影響を与えることができる。</li> <li>・就業体験をとおして自己肯定感の低い子どもたちに自信をつけさせることができる。</li> </ul>
----	---	--

東紀州	<p>開催日：平成29年8月24日（木）          場所：県熊野庁舎大会議室A          参加人数：29人</p> <p>○実践報告          ・尾鷲商工会議所          尾鷲商工会議所の取組          ～地元企業紹介冊子          「おわせのしごと」          作成と「しごと」体験          プロジェクトについて～</p> 	<p>○主な意見・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業体験が形骸化している面もある。学校が事前に目的などを事業所に伝えておくことで有意義な体験につながる。</li> <li>・企業のネームバリューやイメージに左右されるため、生徒だけでなく保護者を交えた見学会等の工夫が必要である。</li> <li>・各学校で、今行われているキャリア教育を振り返り、価値づける必要がある。学校教育活動全体をとおして教科ともつなげていく。小中高等学校との連携も大切である。</li> <li>・前回の会議で知り合った学校と連携した取組ができた。こうした機会は貴重である。</li> </ul>
-----	---	---

<本県におけるキャリア教育の今後の取組について>

- キャリア教育の充実
  - ・多様な主体（経済団体、事業所、NPO法人等）と学校が連携した取組の推進
  - ・小中高のつながりを意識し、互いのキャリア教育の取組について理解を深める機会の充実
  - ・キャリア教育プログラムの策定や充実・改善、キャリア教育の視点を取り入れた授業実践の推進
  - ・子どもたちの変容を捉えたキャリア教育の評価の充実
- 地域の担い手育成及び職場定着の推進
  - ・県内に魅力のある仕事や産業があることについて、子どもたちや教職員の理解の深化
  - ・地域で活躍しようとする子どもたちの意欲の喚起
  - ・新規高等学校卒業生が就職した職場で生き生きと働けるための支援

⇓

【方策例】

- ・キャリア教育フォーラム等によるキャリア教育の優れた取組の紹介
- ・学校における地域の職業人等による出前授業に係る支援
- ・子どもたちや教職員が地域産業の特色や魅力を知るための機会の創出
- ・就業体験受入先の開拓の推進と就業体験の拡充
- ・県立高等学校卒業生の職場定着支援に係る学校と事業所との連携推進

どの会場でも熱心な討議をしていただき、ありがとうございました。  
 思いは1つ！みんなで力を合わせて、三重の子どもたちを育てていきましょう。  
 （三重県商工会議所連合会  
 吉仲 繁樹 専務理事）

